

令和元年12月4日

心臓血管外科にて僧帽弁手術を受けられた患者さまへ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】

僧帽弁手術を受けられた患者様を対象とさせていただきます。

【研究課題名】 僧帽弁手術術式による術後左室内血流の変化に関する研究

【研究責任者】 南 公人 集中治療科 医師

【研究の目的】

僧帽弁手術の術式、使用したデバイスの違いによる、左室内血流の変化を評価すること

【利用するカルテ情報・資料】

年齢、性別、身長、体重、体表面積、診断、術式(人工弁を使用下場合には人工弁の種類及び縫着方向を含む)、術前の併存弁疾患、肺高血圧の有無、心房細動の合併有無

僧帽弁外科的介入の内容、人工弁を使用下場合には弁の種類および縫着方向、同時施行された術式、輸血量、手術時間、麻酔時間、人工心肺時間、心虚血時間

抜管に要した時間、ICU 滞在日数、退院日数、せん妄発症の有無

術前・術翌日・術1週間後・術1か月後の採血データより AST, ALT, Cre, BUN, Hb, Hct, CRP, Alb)

術前・術1か月後の採血データより BNP、HbA1c

VFM mode による左室内の血流評価、渦のできる方向、Energy Loss、1心拍流入血流量心拍出比(1心拍下で左房から左室へ流入した血流が、左室から心拍出される割合)

【研究期間】 倫理委員会承認後より 2029年3月まで(予定)

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】

国立循環器病研究センター 集中治療科

担当医師 南 公人

電話 06-6170-1070 (代表)

内線 (60267)